

## 九州産業大学 商学部 観光産業学科5周年の歩み

### 1. 観光産業学科設置までの経緯

豊かさ、ゆとりを志向する国民意識の変化の中で、余暇活動の中心である観光需要は著しく増大し、観光産業も急成長を遂げているという現状をふまえ、観光に関する高次教育と人材育成が強く望まれるという認識から、平成6年、福岡経済同友会は九州の諸大学において「観光関連学科，講座」の開設を提言した要望書を各大学に提出した。

本学では、商学部がこの要望を受けることとなり、平成6年、商学部長山本（政）教授の要請を受け、池田教授を委員長とした「観光・情報学科検討委員会」が設置され、学科増設の検討に入った。委員会では、全国の観光関連学部・学科の資料の収集や、大学の視察などを行った。

平成7年には、観光・情報学科の増設の前段階として、商学科の専門系列科目の中に「観光・情報学系列」を新設し、観光学概論や情報処理論など10科目が置かれた。これらの科目の担当者として、平成8年4月に田原教授，秋山教授，横山助教授が商学部教員として就任した。

平成8年5月には、観光・情報学科検討委員会の答申を受けて、商学部拡大教授会において「商学部観光・情報学科」の設置が了承され、新たに商学部長石原教授の要請を受け、田原教授を委員長とした「観光・情報学科検討委員会（のちに観光産業学科検討委員会に改組）」が発足した。同委員会は11月に中間報告書を作成し、商学部拡大教授会に提出した。この中間報告までの段階で、新学科のカリキュラムの骨子ができあがった。

翌平成9年4月には、九州産業大学協議会及び中村産業学園理事会において、商学部観光産業学科の設置が了承された。それによって山崎学長を委員長とした「商学部観光産業学科設置準備委員会」及び田原教授を委員長とした「商学部観光産業学科設置実行委員会」が発足し、設置に向けて本格的な検討作業に入った。また4月には観光・情報学系列の「観光事業論」の担当教員として乾講師が就任した。

平成10年4月には新学科のカリキュラム案がほぼ固まり、商学部第一部を150名、第二部を50名の入学定員として、文部省に認可申請を行った。また、観光関連学科の設置要望をした地元経済界との連携を密にし、また社会人有識者の講義を通じて教育の充実を図ることを目的に、商学部寄附講座を5年間の予定で毎年開設することとした。前期は(株)福岡銀行の寄附により「アジアの経済と九州」を、後期は西日本鉄道(株)の寄附により「九州の地域経済と観光」をメインテーマとして、約15名の地元有識者による講義が開始された。この講義は600人収容の1号館S201教室で行われたが、毎回多くの学生が受講し、好評を得た。なお、同年4月には情報関係科目担当の太田教授と法律関係担当の蓑輪助教授が就任した。12月には文部省から正式に観光産業学科の増設の認可がおりた。それを受けて翌年1月31日に観光産業学科推薦入学試験が実施され、2月5日には前期一般入学試験が、さらに3月10日に後期試験が実施された。これによって一部226名、二部25名が観光産業学科一期生として入学することになった(表一2)。

## 2. 平成11(1999)年度…観光産業学科の誕生

平成11年4月1日、念願の観光産業学科が本学商学部が発足した。前述のように第一部の定員は150名、第二部の定員は50名、合計1学年200名で、

観光関連学科としては全国的にも有数の規模を誇るものである。

初代学科主任は田原教授が第一部・第二部兼任という形でスタートを切った。専任教員は商学部にて在籍していた秋山教授、太田教授、高橋教授、高向教授、田原教授、畠中教授、横山教授、蓑輪助教授、乾講師に加え、新任の細野教授、村上助教授、下條講師、千講師、田中講師、鄭講師の6名が加わって、総勢15名の陣容であった。

表一 観光産業学科入学者数

内 訳 年 度	第 一 部	第 二 部
平成11年度	226 (103)	25 (7)
平成12年度	157 ( 86)	42 (4)
平成13年度	191 (103)	35 (6)
平成14年度	180 (101)	40 (6)
平成15年度	179 ( 97)	23 (2)

注：括弧内は女子学生で、内数である。

留学生入学者数は平成11年度 4 (1)名、12年度10(7)名  
13年度13(5)名、14年度23(15)名、15年度20(16)名

新入生の入学式は4月5日(月)にとり行われ、前期講義は4月8日(木)より開始された。なお、第1期生から4期生までのカリキュラムは付表一1のようになっている。カリキュラムは、商学部にて設置された趣旨を明確にするために、観光学概論と商業サービス学概論を必修科目とした。そして全体では、観光関係の科目をコアとしつつも、商学系の科目に社会科学系の科目を多数配置したこと、また、情報教育も重視したことを特徴としている。

7月13日には、観光産業学科増設を記念して講演会が開催された。講師は船山龍二氏(株)日本交通公社代表取締役社長)、講演のテーマは「旅行産

業の現状と展望」であった。同氏は「産業、行政と大学が連携して“観光”を真に有望な産業としていきたい」と呼びかけられた。会場のS201は学内外の観光産業学科増設関係者や観光産業学科新入生、商学科在校生など、約600名の聴衆で埋め尽くされた。

なお、観光産業学科での教育を充実させるために、横山教授が7月より約50日間、オーストリアのインスブルック大学へ「アルプスの観光と環境に関する研究」を目的に短期国外研修に赴いた。

また、商経論叢第40巻第3号が、「商学部観光産業学科増設記念」号として、平成11年11月に発刊された。石原学部長による巻頭挨拶をはじめ、論説14編、資料1編、計382頁という大作であった。

なお、高向教授は当年度末をもって定年退職された。

### 3. 平成12（2000）年度…日本観光研究学会全国大会の開催

本年度より、観光産業学科の第一部学科主任を高橋教授、第二部学科主任を横山教授が担当することとなった。また、乾講師が助教授に昇格した。4月3日（木）の入学式に臨んだ新入生は第一部157名、第二部42名の計199名であった。

秋山教授が長期国外研修者として、8月から1年間、「流通・サービス産業における情報技術の活用と顧客満足システムの活用の研究」のため、米国コーネル大学に赴いた。

観光産業学科が全面的に協力した主要な行事として、第15回日本観光研究学会全国大会の本学での開催がある。同大会は12月2日（土）・同3日（日）の両日にわたって開催された。2日午前には「福岡市における新しい都市観光と商店街活性化」をテーマに、博多リバレインからキャナルシティ博

多にかけてのエクスカージョンが行われた。午後2時からS201教室において「21世紀における九州の地域振興と国際観光交流」をテーマとしたシンポジウムが行われた。九州旅客鉄道(株)代表取締役会長石井幸孝氏による基調講演「九州発信 日本の国際観光」に続いてパネルディスカッションが波多江種治氏(福岡市経済企画局観光課長), 溝口薫平氏(由布院「玉の湯」社長), 茂原史則氏(JTB九州営業本部 取締役本部長), 千相哲専任講師の4名のパネリストと田原教授のコーディネートにより展開された。全国各地からの来訪者も多く, 参加者数は172名に達した。午後6時から1号館7階大会議室にて, 懇親会が盛大にとり行われた。

第2日目の12月3日(日)には研究発表大会が4つの会場に分かれて実施された。発表された研究数は実に55本に達した。

#### 4. 平成13(2001)年度…観光実習の開始

4月に, 第一部191名, 第二部35名の計226名新入生を迎え入れた。また内野教授, 西村教授が観光産業学科の専任教員として就任した。

今年度からの新しい試みとして, 新入生をできるだけ早く大学生活に慣れさせるとともに, 学科カリキュラムと教育内容を理解させるために, オリエンテーション「フレッシュマン・キャンプ」を行うこととなった。同キャンプは4月6日に篠栗町にある福岡県立社会教育総合センターにて日帰りで催された。貸切バスにて大学を9時半に出発し, 現地へは10時到着。全体オリエンテーションや基礎ゼミ別の研修会など, 和やかな雰囲気の中で16時まで行われた(実施委員: 乾助教授, 蓑輪助教授, 下條講師)。

観光産業学科の大きな特色となっている3年次配当の「観光実習A・B」が本年度初めて開講された。観光実習A(宿泊業経営実習)の担当は田原

教授，乾助教授，実習生は18名，観光実習B（旅行業経営実習）の担当は横山教授，千講師，実習生は21名であった。学内での前期12回の事前学内実習の後，8月下旬から9月中旬にかけて現地実習が行われた。実習先は宿泊業は西鉄グランドホテル，ソラリア西鉄ホテル，旅行業は(株)ジェイティービー（旧(株)日本交通公社）九州営業本部管内各支店であった。各社の熱意ある受け入れ体制により，実りある観光実習とすることができた。また，観光実習Bの後期現地実習期間中（9/10～9/14）には，世界を，とりわけ観光業界を震撼とさせた9.11米国同時多発テロが勃発し，その対応に奔走する旅行会社の実態に直に接することの出来た実習生もいた。

11月17日には今後の研修科目の拡充に向けた試みとして，国内観光研修が下関・門司港レトロ地区においてが実施された。引率者は横山教授，田中講師，千講師の3名。これは正規の単位認定科目ではないが，37名と多くの学生が参加した。

就職関係では，観光産業学科独自の行事として，7月7日（土）に3年次生対象の「就職対策実践講座」が初めて開催された。乾助教授による「身だしなみ・礼儀」，「業界・企業・職種の選定について」，「筆記試験の対策について」等の講義，また，商学科4年生志垣亜矢乃さんによる就職活動体験談などが行われた。

## 5. 平成14（2002）年度…第1期卒業生の巣立ち

4月より商学部長高橋教授，第一部観光産業学科主任横山教授，同第二部学科主任内野教授の新体制で新年度を迎えることとなった。また，佐藤哲哉助教授が4月1日付けで新たに観光産業学科の専任教員として加わった。

4月3日(木)の入学式に臨んだ新生は第一部180名、第二部40名の計220名であった。

入学式(4月3日)翌日の教務ガイダンス終了後、福岡市東区のリゾートホテル「ホテル海の中道」において観光産業学科の「フレッシュマンキャンプ」を実施した。オリエンテーションとしての内容をより充実させるとともに、観光産業学科の学生を一流ホテルでの宿泊を体験させる研修の第一歩として、1泊2日の日程で行われた。観光産業学科教員全員とサポート学生14名が指導に当たった。4日夕刻には同ホテルを経営する「株式会社福岡シティクラブ」の代表取締役社長の藤木辰正氏によって「ホスピタリティ・ビジネスと人材」と題する講演が行われた。

商学部からの長期国外研修者として選出された千講師は、8月より1年間、英国のレディング大学にて「ヨーロッパにおける国際交流と観光連携」、「ユーロトンネルの開通によるイギリス観光への影響」に関する研究に取り組んだ。

2年目の観光実習Aの実習生は30名、同Bの担当は横山教授、細野教授に変わり、実習生は21名であった。8月下旬から9月中旬にかけての現地実習先は、観光実習Aでは実習生がかなり増えたため、西鉄グランドホテル、ソラリア西鉄ホテルに加えてホテルオークラ福岡、グランド・ハイアット福岡の2社でも実施した。観光実習Bは前年度同様に(株)ジェイティービー九州営業本部管内各支店で行われた。

11月23日に第2回目の国内観光研修(下関・門司港レトロ地区)が実施された。引率者は横山教授と田中講師、参加学生は9名であった。

また、次年度からの Semester 制への移行に関連して、新カリキュラムの編成について、検討が行われた。

観光産業学科の独自の就職対策として、7月6日(土)に3年次生対象

の「就職対策実践講座」が、12月21日（土）には2年次生対象の「就職対策準備講座」が開催された。前者では、乾助教授による身だしなみ・礼儀作法等に関する指導と、松笠裕之氏（グランド・ハイアット東京・人材開発部マネージャー）によって「面接担当者はここを見る！」と題する講演が行われた。また、後者では、昨年度同様に乾助教授の指導と志垣亜矢乃氏（全日空トラベル九州）による「現在の仕事と就職活動」についてのOB講演などが行われた。

次に、第1期生の観光関連産業への主要な就職先を挙げておきたい。

- \* ホテル関係 8名；西鉄グランドホテル，ホテルオークラ福岡，グランド・ハイアット福岡，ホテル日航福岡，グランド・ハイアット東京，ワシントンホテル(大分市)
- \* 旅行業関係 8名；JTB，JTB ビジネスサポート九州，クラブツーリズム，東急観光，ジャパンツアーシステム，全日空トラベル九州
- \* 交通関係 2名；九州旅客鉄道，第一交通産業
- \* その他，流通・小売・サービス業関係多数

## 6. 平成15（2003）年度…新カリキュラムがスタート

昨年度で平成11年度の創設以来4年間の完成年度を終え、今年度入学生より新たなカリキュラムがスタートし、そのコンセプトは「サービス・ホスピタリティ」と「企業活動」の両面からの研究である（付表一2）。4月に、蓑輪助教授，村上助教授の2名が教授に昇格し，千講師，下條講師，田中講師，鄭講師の4名が助教授に昇格した。なお，畠中教授は商学科へ移籍となった。

新入生は第一部179名，第二部23名の計202名であった。



観光産業学科フレッシュマン・キャンプは、4月3日の入学式当日の午後から行われた。午後1時に大学を出発し、同日2時より昨年と同様「ホテル海の中道」にて、1泊2日の予定で行われた。昨年度同様に、藤木辰正氏によって「ホスピタリティ・ビジネスと人材」について講演があった。次に今年度からの新カリキュラム（付表―3）は、セメスター制への移行をベースに、観光ホスピタリティ産業科目群と企業活動科目群の分離・明確化及び実務・実践科目群の充実を図ったこと、さらに1年次観光関連専門科目及び3・4年次観光関連科目等の拡充、外国語科目の強化、各種取得資格の単位化等に主眼が置かれている。例えば、観光・ホスピタリティ産業科目では、「観光と経営」、「観光と地理」などが1年次に割り当てるとともに、「観光文化論」や「観光開発論」などが3・4次配当科目として新設された。また、企業・経済活動科目では、商学、経済・経営学、会計学、法学、情報学の各分野を明確にし、内容の充実を図った。観光研修・実習関係は、「国内観光研修」、「国外観光研修A、B、C」が新たに追加されたほか、観光実習を観光経営実習に改めた。専門外国語関係では、「TOEIC I～III」、「観光英語 I～II」、「観光韓国語 I～II」、「観光中国語 I～II」などが導入された。各種資格関係では、旅行業務取扱主任者や旅行地理検定などの取得者に2～4単位が認定されることとなった。

11月8日には新カリキュラムの特色の一つである「国内観光研修（2単位）」が、横山教授、千助教授の指導で由布院と別府において1年生を対象に行われた（参加学生45名）。

乾助教授が本年度の長期国外研修者として、8月より1年間の予定で、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学において「米国及びカナダのサービス・ホスピタリティ産業におけるホスピタリティの有用性に関する研究」に取り組んでいる。

第3回目となる観光実習Aの担当は田原教授，乾助教授，佐藤哲哉助教授の3名体制となり，履修生は28名であった。同Bの履修生は18名であった。現地実習先は，昨年度同様に観光実習Aは4ホテル，観光実習Bは(株)ジェイティービー九州営業本部管内各支店で行われた。

11月15日には観光産業学科増設5周年を記念した九州産業大学商学会主催のシンポジウムがS201教室で開催された。原重一氏(九州産業大学非常勤講師・立教大学大学院ビジネスデザイン研究科教授・日本観光研究学会会長)による「日本の観光の将来」と題する基調講演の後，パネルディスカッションが「九州観光の再生と将来」をテーマに行われた。パネリストは石崎仁志氏(九州運輸局企画振興部長)，片岡力氏(長崎国際大学人間社会学部国際観光学科教授)，田代雅彦氏(財九州経済調査協会調査研究部次長)，桑野和泉氏(株由布院「玉の湯」代表取締役)であり，田原教授がコーディネートを務めた。参加者総数は約400名に達し，会場からの質問も多く，活発な議論が行われた。



「観光産業学科増設5周年記念シンポジウム」(2003.11.15)の様子

就職関係では，9月27日(土)に3年次生対象の「就職対策実践講座」が，12月20日(土)には2年次生対象の「就職対策準備講座」が行われた

(担当：細野教授，佐藤哲哉助教授)。前者では，松尾俊彦氏（西鉄情報システム(株)代表取締役社長）により「求められるグローバルな人材」と題する講演が行われた。

12月6日（土）には，九州産業大学商学会主催の第1回商学部学生研究発表会が開催された。観光産業学科の学生グループも多数参加し，観光産業に関わる実態調査や実務面にわたる発表が行なわれ，活発で有益な意見交換があった。外部審査員を含む表彰も行なわれ，優秀な評価を与えられた（審査員：石原教授，西村教授，橋爪富規子非常勤講師（有）エメラ）。

以上，観光産業学科増設5周年を記念して，「商経論叢第44巻第4号」を「商学部観光産業学科増設5周年記念」号として3月末日に発刊することとした。

なお，観光産業学科の増設とこの5年間の歩みにおいて，関係各位からは多大なご指導，ご支援をいただきました。末尾ながら，記してお礼を申し上げます。

（付記：上記文章の作成に当たっては，細野光一教授に協力いただいた。）

付表—1 増設時における年次別授業科目配当表

商学部第一部 観光産業学科

\*印は必修科目 △は選択必修科目

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専門科 目	観光基礎論	*観光学概論	4	△観光経済論	4				
		商業史概論	4	△観光史	4				
				△観光政策論	4				
				△観光ビジネス・システム論	4				
				△観光地理学	4				
	観光経営論	*商業サービス学概論	4	△ホスピタリティ産業論	4	サービス産業経営論 (4)	4	経営戦略論 (4)	4
				経営学総論	4	マーケティング・マネジメント (4)	4	マーケティング・リサーチ (4)	4
				マーケティング論	4	消費者行動論 (4)	4	人的資源開発論 (4)	4
				経営管理論	4	ビジネスファイナンス (4)	4	保険リスク・マネジメント (4)	4
				企業組織法	4	企業取引法 (4)	4		
国際・地域観光論			国際観光論	4	ヨーロッパ観光事情 (4)	4	アメリカ観光事情 (4)	4	
			国内観光事情	4	アジア観光事情 (4)	4	アジアの経済と貿易 (4)	4	
			環境と法	2	国際金融論 (4)	4	国際マーケティング論 (4)	4	
					国際会計論 (4)	4	国際取引と法 (4)	4	
					ビジネス・コミュニケーション論 (4)	4	観光英語 (4)	4	
会計・社会情報論	会計情報	会計学基礎論	4	会計学総論	4	管理会計論 (4)	4	税務会計論 (4)	4
	情報システム	△情報処理概論	4	情報システム論	4	情報管理論 (4)	4	情報システム開発論 (4)	4
						観光情報システム論 (2)	2		
	企業法学	市民生活と法 (含む日本国憲法2単位)	4	行政法	4				
		憲法	4	契約法	4				
経済学	経済学基礎論	4	現代と経済学	4	世界経済論 (4)	4			
ゼミナール等	基礎ゼミナール	2	ゼミナール I	4	ゼミナール II	2	卒業論文	4	
外書講読			外書講読	(4)					
特別講義	特別講義 A (アジアの経済と九州)	(2)							
	特別講義 B (九州の地域経済と観光)	(2)							

(注) 「観光実習 A」及び「観光実習 B」の履修は、「観光ビジネス・システム論」の単位を修得していなければならない。

出典：「学生便覧1999」(九州産業大学) なお、第二部観光産業学科は省略した。

付表—2 現行の新カリキュラムにおける年次別授業科目配当表

商学部第一部 観光産業学科

\*印は必修科目 △印は選択必修科目

区 分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	基礎科目		基幹科目		展 開 ・ 応 用 科 目			
	授業科目	単 位	授業科目	単 位	授業科目	単 位	授業科目	単 位
専 門 科 目	観光・ホスピタリティ産業科目	観光学	*観光学基礎論 2 観光産業論 2 観光と経営 2 観光と地理 2	△観光ビジネスシステム論 2 △観光地理学 2 観光政策論 2 観光経済論 2 観光調査法 2	観光文化論 (2) 観光史 (2) 観光社会学 (2)			
		観光・ホスピタリティ経営	△ホスピタリティビジネス入門 2 観光関連法規Ⅰ 2	ホスピタリティビジネス経営論 2 旅行業経営論 2 コンベンション事業論 2 エアラインビジネス 2 観光関連法規Ⅱ 2	観光情報システム論 (2) 地域産業振興論 (2) 観光開発論 (2)	観光マーケティング論 (2) 交通システム論 (2) 観光メディア論 (2)		
		国際・地域観光	アジア地域論 2	国際観光論 2 国内観光論 2	ヨーロッパ観光事情 (2) アジア観光事情 (2) オセアニア観光事業 (2) アメリカ観光事情 (2)			
		商学	*商業サービス学基礎 2 △商業サービス学応用 2	△マーケティング論 2	マーケティングリサーチ (2) マーケティングマネジメント (2) 国際マーケティング論 (2)	消費者行動論 (2) リスクマネジメント論 (2)		
	企業・経済活動科目	経済・経営学	経済学基礎論 2 経営学基礎論 2	現代社会と経済 2 公共財政論 2	公共政策 (2) サービス産業経営論 (2) 資金調達論 (2)	地域開発論 (2) 人的資源開発論 (2)		
		会計学	△会計学基礎論 2 簿記論 2	財務会計論 2 管理会計の基礎 2	管理会計論 (2) 税務会計の基礎 (2) 税務会計論 (2)			
		法学	△企業活動と法環境と法 2	人権論 2 契約と法 2 会社法 2	日本国憲法 (2) 行政法 (2) コーポレート・ガバナンスと法 (2)			
		情報学	△情報リテラシー 2 統計処理基礎論 2	情報システム論 2 経営情報システム論 2	情報産業論 (2) 情報管理論 (2)			
	ゼミナール・観光研修・実習	基礎ゼミナール 2	ゼミナールⅠ 4	ゼミナールⅡ 4	ゼミナールⅢ 4 卒業論文ゼミナール 8			
		国内観光研修 (2)		国外観光研修A (4)	国外観光研修B (4)	国外観光研修C (2)		
				観光経営実習 2				
外書講読・専門外国語	TOEICⅠ 2	外書講読A (2) TOEICⅡ (2) 観光英語Ⅰ (2) 観光韓国語Ⅰ (2) 観光中国語Ⅰ (2)	外書講読B (2) TOEICⅢ (2) 観光英語Ⅱ (2) 観光韓国語Ⅱ (2) 観光中国語Ⅱ (2)					
		特別講義Ⅰ (2)	特別講義Ⅱ (2)	特別講義Ⅲ (1)	特別講義Ⅳ (1)			

出典：「学生便覧2003」(九州産業大学)なお、第二部観光産業学科は省略した。

付表—3

## ■「九州産業大学 商学部 観光産業学科の歩み」年表

平成6年度 (1994年度)	
6月	・福岡経済同友会が「九州地区に観光関連学科，講座の開設に関する要望書」を提出 ・商学部にて観光・情報学科検討委員会を設置 (平成6年度・委員長：池田教授，平成7年度・委員長：永吉教授)
平成7年度 (1995年度)	
4月	・商学科の専門科目に「観光・情報学系列」が新設
平成8年度 (1996年度)	
5月	・商学部拡大教授会にて商学部観光・情報学科の設置を了承
	・九州産業大学商学部観光・情報学科検討委員会を設置 (委員長：田原教授)
11月	・九州産業大学商学部観光産業学科検討委員会より中間報告 (学科名を観光産業学科に改称)
平成9年度 (1997年度)	
4月	・役員会議にて商学部観光産業学科設置準備委員会及び設置実行委員会の発足を了承 ・学科設置準備委員会 (委員長：山崎学長)，実行委員会 (委員長：田原教授) が発足 ・協議会にて商学部観光産業学科の設置を了承 ・理事会にて商学部観光産業学科の設置を了承
平成10年度 (1998年度)	
4～7月	・寄附講座・特殊講義A「アジアの経済と九州」を開講 (H10～H14までの5年間開講)
4月	・観光産業学科設置認可を文部省に申請
9～12月	・寄附講座・特殊講義B「九州の地域経済と観光」を開講 (H10～H14までの5年間開講)
12月	・商学部第一部観光産業学科，第二部観光産業学科の増設が認可される
1月	・第一期生入学試験を実施
平成11年度 (1999年度)	
4月	・商学部第一部観光産業学科，第二部観光産業学科が発足 ・第一部・第二部学科主任に田原教授が就任
7月	・観光産業学科増設記念講演会を開催 (参加者数約600名) ・講演：「旅行産業の現状と展望」 講師：船山龍二氏 (株式会社日本交通公社代表取締役社長)
11月	・九州産業大学商学会・商経論叢第40巻第3号を「商学部観光産業学科増設記念」号として発刊
平成12年度 (2000年度)	
4月	・第一部学科主任に高橋教授，第二部学科主任に横山教授が就任
2月	・第15回日本観光研究学会全国大会を開催 (シンポジウムおよび研究発表会)

平成13年度 (2001年度)	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生オリエンテーション「フレッシュマン・キャンプ」(日帰り)を実施</li> <li>・於：福岡県立社会教育総合センター(篠栗町)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次生対象「就職対策実践講座」を実施</li> </ul>
4～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光実習A(宿泊業経営実習)・同B(旅行業経営実習)を実施(以降毎年実施)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内観光研修を下関・門司港レトロ地区において実施</li> </ul>
平成14年度 (2002年度)	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一部学科主任に横山教授, 第二部学科主任に内野教授が就任</li> <li>・新入生オリエンテーション「フレッシュマン・キャンプ」(1泊2日)を実施</li> <li>・於：ホテル海の中道(福岡市東区)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次生対象「就職対策実践講座」を実施</li> <li>・日本観光研究学会・第1回九州地域研究会を開催(於：九州産業大学)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内観光研修を下関・門司港レトロ地区において実施</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次生対象「就職対策準備講座」を実施</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本観光研究学会・第2回九州地域研究会を開催(於：九州産業大学)</li> </ul>
平成15年度 (2003年)	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セメスター制度導入に伴う新カリキュラムが発足(平成15年度入学生より)</li> <li>・新入生オリエンテーション「フレッシュマン・キャンプ」(1泊2日)を実施</li> <li>・於：ホテル海の中道(福岡市東区)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本観光研究学会・第3回九州地域研究会を開催(於：九州産業大学)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次生対象「就職対策実践講座」を実施</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内観光研修(由布院・別府日帰り)を実施</li> <li>・観光産業学科増設5周年記念シンポジウムを開催(参加者数約400名) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演：「日本の観光の将来」 講師：原 重一氏(立教大学大学院ビジネスデザイン研究科教授)</li> <li>・パネルディスカッション：「九州観光の再生と将来」 講師：石崎仁志氏(九州運輸局企画振興部長) 片岡 力氏(長崎国際大学教授) 田代雅彦氏(財九州経済調査協会調査研究部次長) 桑野和泉氏(株由布院「玉の湯」代表取締役社長)</li> <li>コーディネーター：田原榮一教授</li> </ul> </li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次生対象「就職対策準備講座」を実施</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本観光研究学会・第4回九州地域研究会を開催(於：立命館アジア太平洋大学)</li> <li>・九州産業大学商学会・商経論叢第44巻第4号を「商学部観光産業学科増設5周年記念」号として発刊</li> </ul>